

整理番号 2019P-073
補助事業名 2019年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

事業の目的は、当会が主に活動するカンボジアで、日本の若者に恐育支援活動の一端を担うボランティア活動（遊具建設・校舎の壁塗装）や国際交流の開会を提供することで、カンボジアの教育支援と日本人の国際理解と言った、次世代を担う両国の人材を育成する活動である。

(2) 実施内容

◆ブランコ建設 (<http://www.jhp.or.jp/>)



スワイエイエン州のルッセイプレイ小学校にてブランコ1基の建設を3日間行った。土台の穴掘り、コンクリート流し、電動ドリルが動かなくなるハプニングも有ったが、臨機応変に役割分担をしながら作業を行い、無事ブランコが完成した。これと併行して校舎の壁のペンキ塗りも行った。完成した競輪マーク入りのブランコに子どもたちが笑顔で楽しそうに乗っている。

◆校舎贈呈式と桜植樹



子供たちをはじめ、保護者の方や地域の方約350人が集まったプレイトロー小学校の贈呈式に参加した。子どもたちとソーラン節などのパフォーマンスを披露した後、テープカットや記帳、サクラの植樹などを行った。

◆フィールドワーク



JHP で初めての試みとなるフィールドワークを行った。学生が主体となって各グループで決めたテーマ（「異文化」「建造物」「食」「物価」）に基づき、対象となる現地を調査した。調査地からは、通訳を帯同せずチームの力だけで調査をし、本やインターネットでは知りえない肌感覚に残る体験ができた。

◆児童養護施設（CCH）訪問



児童養護施設 CCH に行き、現地の子どもたちと交流した。カレー作りや、ローカルゲームを楽しみ、一緒に練習したソーラン節で親交を深めた。

2 予想される事業実施効果

◆ブランコを作る目的は、遊び場としてだけではなく、子どもたちが学校に通うことが楽しくなり、中途退学者が減少することで就学率向上にも役立っている。

◆ペンキ塗りは、先生や生徒と一緒に作業することで、校舎を大切に使うことを学び、綺麗に使うことで衛生教育の役割も果たしている。

◆フィールドワークは、現地で体当たりの調査をすることで、机上の知識ではなく実体験で得る物の重要性を学ぶことができる。彼らは新たな世界観を持ち帰り、自己形成の場作りとしての役割を果たしている。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

活動報告と活動記録集（別途添付）

[\(http://www.jhp.or.jp/activity/volunteer/cambodia_experience_tour/\)](http://www.jhp.or.jp/activity/volunteer/cambodia_experience_tour/)

4 事業についての問い合わせ

団体名： 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会
(トク ジェイエイチピー・ガッコウヲツクルカイ)

住所： 〒108-0014 東京都港区芝5-26-16 読売理工学院ビル6階

代表者： 代表理事 笹平美江子 (ササヒラミエコ)

担当部署： 事務局

担当者： 綿貫玲子 (ワタヌキレイコ)

電話番号： 03-6435-0812

F A X : 03-6435-0813

E-mail : watanuki@jhp.or.jp

U R L : <http://www.jhp.or.jp>